

令和4年6月18日（土）午後5時よりロイヤルパークホテル高松にて、令和3年度大阪歯科大学同窓会香川県支部総会が開催されました。

炭山副会長の開会挨拶の後、藤村順一先生に対し哀悼の意を込め、黙祷が捧げられました。そして、香川県支部会長阿部直樹先生より開会の挨拶では、歯科医師のあり方、医科歯科の格差などについて語られました。次の活動報告では1月29日にWEBで学術勉強会を開催（同窓会会員対象）したことについて報告がなされた後、蓮井咲弥加先生（高松）の新規入会の挨拶がなされました。

今回、来賓として大阪歯科大学同窓会会長、生駒 等先生と専務理事の恩田信雄先生より大学設立100周年記念大会を令和4年8月20日（土）に開催するにあたり、同大会の概要と取り組みについての詳細な説明がなされ、記念大会に向けて意気込みを熱く語られました。また、大学からはアドミッションセンター長（薬理学講座主任教授）野崎中成先生が来県され、国家試験の状況、叙勲者、人事、行事予定、新キャンパス等について学内報告があり、盛んな議論が交わされた後、閉会挨拶を合田副会長が行いました。

支部総会は2年ぶりの会場開催となりました。コロナウイルス感染者数が6月上旬の時点で減少傾向にあるも、感染拡大防止の観点から通常の懇親会は中止となり、残念に感じました。来年からは通常の総会・懇親会が開催されることを祈念いたします。